

令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の状況について

1 概要

国の日本型直接支払制度に基づき、農業者団体等が環境こだわり農業を実施した上で、さらに地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む場合に、取組面積に応じて、国・市町とともに一定の負担割合で支援している。

2 支援状況

区分	R7 実績見込み	R6 実績値
実施件数	394 件	423 件
実施面積	12,100ha	12,354ha
うち 長期中干し取組面積	最大 10,608 ha ※R7 制度見直しにより集計 不能になったため、考えられ る最大値を記載	10,376 ha
うち 殺虫殺菌剤・化学肥料を使用しない栽培	234ha	193ha
交付額	534,329 千円	536,970 千円

《実施面積の推移》

R2 年度から第2期対策が、R7 年度から第3期対策が開始されている。水稻の作付面積減少等に伴って、取組面積は減少している（図1）。

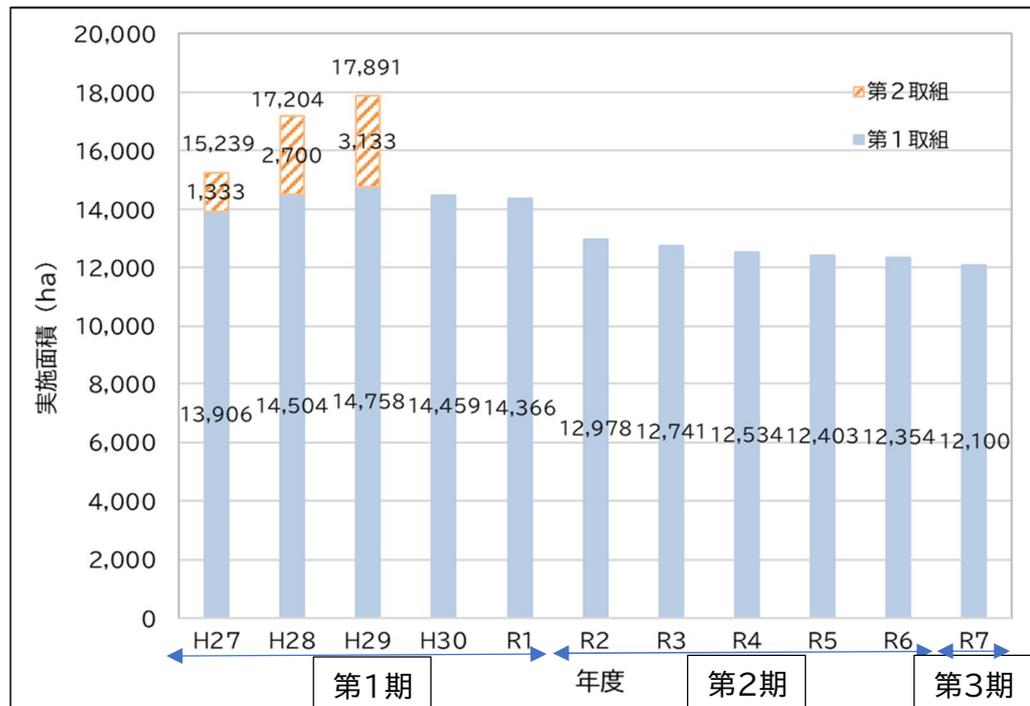


図1 滋賀県の環直交付金に係る実施面積の推移

《支援対象取組別の面積》

取組面積のうち、最も多いのは「総合防除（7,846ha）」。次いで、「樹脂製の被膜を用いない緩効性肥料の利用および長期中干し（2,881 ha）」となっており、これらの取組で約 89% を占める（図2）。

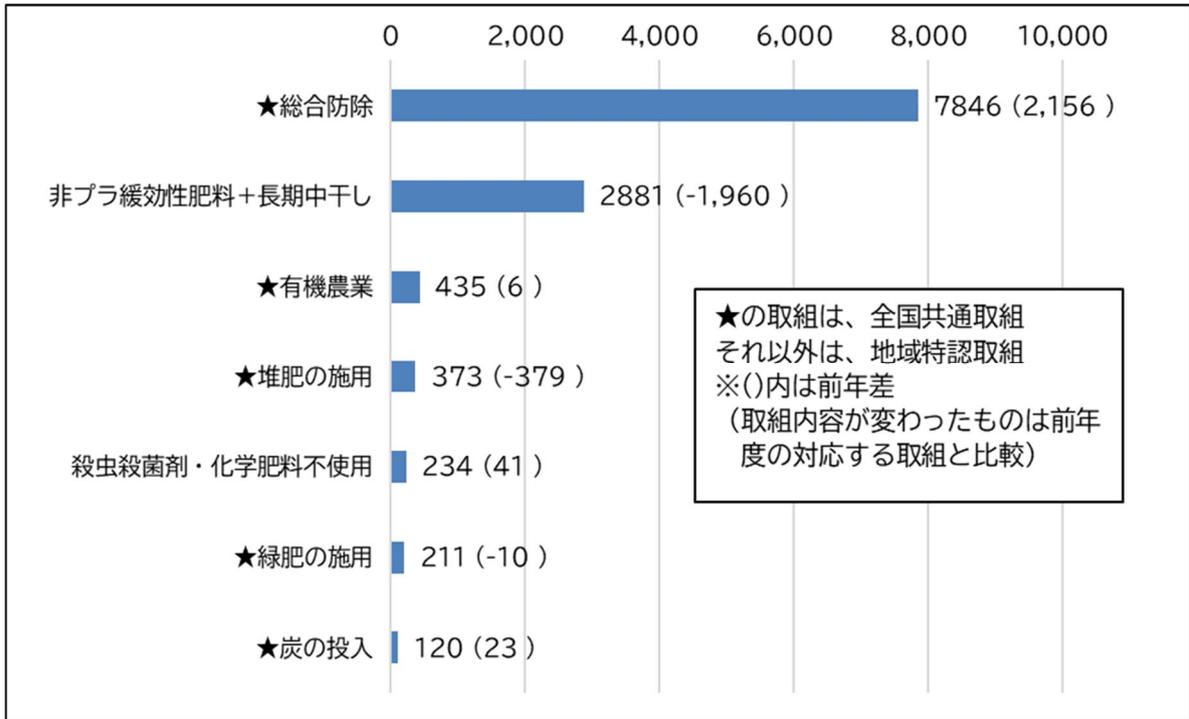


図2 令和7年度各取組の実施面積（見込み）（単位：ha）